

器51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 短期的使用胃瘻栄養用チューブ 35419002

GB 胃瘻バルーンカテーテル (Y型ポート)

再使用禁止

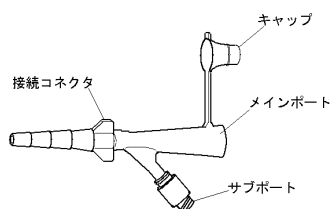
【禁忌・禁止】

1. 使用方法
- 1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品は、GB 胃瘻バルーンカテーテル (GB 胃瘻バルーンチューブ、GB 胃瘻バルーンチューブセット/認証番号: 220ADBZX00115000) 専用の、Y型ポートである。

〈Y型ポート〉



〈材質〉

各部の名称	原材料
接続コネクタ	ポリプロピレン
メインポート	シリコンゴム
サブポート	ポリカーボネート及びシリコンゴム

本品はラテックスフリーである。

〈原理〉

胃瘻孔に留置したGB 胃瘻バルーンチューブのファネルに接続することで、栄養剤等の投与経路を分岐する。

【使用目的又は効果】

1. 使用目的

胃又は腸に直接栄養剤等を投与する目的で、造設された胃瘻孔より胃又は腸内に挿管して使用する。また、胃内の減圧にも使用できる。

2. 本品の使用目的

造設された胃瘻孔に留置したGB 胃瘻バルーンチューブに接続し、栄養剤等の投与、或いは消化管の減圧に使用する。

【使用方法等】

1. 一般的使用方法

〈接続前の準備〉

- 1) 滅菌包装より丁寧に取り出し破損等がないことを確認する。

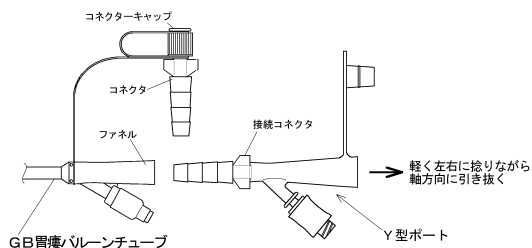
〈接続方法〉

- 1) GB 胃瘻バルーンチューブのファネルよりコネクタを取り外す。
- 2) 本品の接続コネクタを、GB 胃瘻バルーンチューブのファネルに接続する。

〈管理方法〉

- 1) 栄養剤等の投与前後、或いは消化管内の減圧後には、接続したY型ポートより、適量の微温湯でGB 胃瘻バルーンチューブの内腔をフラッシングする。
- 2) 栄養剤等の投与後は、Y型ポートのキャップを閉じる。

- 3) 本品を、GB 胃瘻バルーンチューブより取り外す場合は、Y型ポートの接続コネクタを把持し、軽く左右に捻りながら軸方向に引き抜く。(下図参照)



- 4) 栄養剤等の投与後にGB 胃瘻バルーンチューブのファネルより本品を取り外した場合は、GB 胃瘻バルーンチューブに具備されているコネクタによりファネルを閉じる。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) GB 胃瘻バルーンチューブの取扱いは、当該製品の手順に従うこと。
- 2) 刃物、鉗子、針等で傷を付けないように注意すること。[シリコンゴム製品は、傷が生じることにより強度が著しく低下するため、傷が生じると、破損の原因となる]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、清潔な状態で保管すること。

2. 有効期間

使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927